

革命的學生運動の任務

(下)

帝国主義との攻防環

Xテー攻撃と対決

八八年度における第一の課題は、日本帝の戦争準備・日帝一竹下の戦争遂行国体制作より、美力で対決することである。それは第一に、昨年皇太子訪沖止阻闘の成績で、知花昌一・知花盛康氏支援・チヂリガマ「平和の像」再建へと継承された闘いを発展・拡大させ、Xテー攻撃とその当面する環である京都国

軍への支援を合法化せんとする「有事支援研究」が開始され、日米韓軍事同盟の完成化・総仕上げが自論まれている。(奥野裕吉は、こうした流れの中で捉えなければならない)これには必ずしも、竹下による戦争遂行国家体制づくりの中心環である。

(奥野裕吉は、こうした流れの中で

捉えなければならない)これには必ずしも、竹下による戦争遂行国家体制づくりの中心環である。

天皇制と日米安保・日米韓軍事同盟は、革命の根本問題である日本の国家権力を規定する問題である。それ故我々は、Xテー攻撃と京都国体に対し、反安保・反天皇・沖縄帝の旗を高々と掲げて闘

体に対して正面から対決することであ

る。

日帝一竹下は、「あるさて創生論」なる持論によつて、ショナリズムを鼓舞し、中曾根よりも穏健に、しかしながら、だからこそより巧妙に、戦争に向かた「拳制」徹底した裕仁の「平和天皇」キヤンペーンと明る「戦争を知らない天皇」と反対派の暴的圧殺を狙つてゐる。

これはアーティによるマスクの報道管

国一致体制による反対派の集中弾圧として表れようとしている。(山谷における警察ぐる一家・「業者」)藤井興泰明は、B滑走路の本格着工を開始しして戒厳体制による反対派の集中弾圧をして、戒厳体制による反対派の集中弾圧として表れようとしている。

第一に國体巡の初回・裕仁から明仁

へと続々とバントンタッチのため政

治的セレモニーとして、第二に「建都千

二百年祭」へと続く天皇制を前面に押し出された「文化首都」=「日本の文化的るさ」との建設としての意味をもつてゐる。

又これ運動して、「有事」の際の米

市空港の完成と石垣島新空港をはじめとする四地方空港のシート化を推し進めることによって、戦争に向けた日本列島の「全土不沈空母化」を画策してい

る。三里塚闘争が政府の中心プロジェクトである成田軍事空港の建設を阻み抜いて、これが第一の意義である。

第一には、三里塚闘争が日米帝の戦争

準備、日帝の農政・農業政策・農作物

輸入自由化・食糧制度解体攻撃と対決す

る。民と労働者の「労農連帯」を発展させ、敵が日雇金協の闘いをいかに恐れているかといふことの証左である。

これに對し日雇金協と支援は、「丸とな

れども、竹下による戦争遂行国家体制づくりの中心環である。

天皇制と日米安保・日米韓軍事同盟は、革命の根本問題である日本の国家権

力を規定する問題である。それ故我々は、Xテー攻撃と京都国体に対し、反安保・

反天皇・沖縄帝の旗を高々と掲げて闘

体に対して正面から対決することであ

る。

日帝一竹下は、「あるさて創生論」なる持論によつて、ショナリズムを鼓舞し、中曾根よりも穏健に、しかしながら、だからこそより巧妙に、戦争に向かた「拳

制」徹底した裕仁の「平和天皇」キヤン

ペーンと明る「戦争を知らない天皇」と反対派の暴的圧殺を狙つてゐる。

これはアーティによるマスクの報道管

国一致体制による反対派の集中弾圧として表れようとしている。

第一に國体巡の初回・裕仁から明仁

へと続々とバントンタッチのため政

治的セレモニーとして、第二に「建都千

二百年祭」へと続く天皇制を前面に押し出された「文化首都」=「日本の文化的るさ」との建設としての意味をもつてゐる。

又これ運動して、「有事」の際の米

市空港の完成と石垣島新空港をはじめとする四地方空港のシート化を推し進めることによって、戦争に向けた日本列島の「全土不沈空母化」を画策してい

る。三里塚闘争が政府の中心プロジェクトである成田軍事空港の建設を阻み抜いて、これが第一の意義である。

第一には、三里塚闘争が日米帝の戦争

準備、日帝の農政・農業政策・農作物

輸入自由化・食糧制度解体攻撃と対決す

る。民と労働者の「労農連帯」を発展させ、敵が日雇金協の闘いをいかに恐れているかといふことの証左である。

これに對し日雇金協と支援は、「丸とな

れども、竹下による戦争遂行国家体制づくりの中心環である。

天皇制と日米安保・日米韓軍事同盟は、革命の根本問題である日本の国家権

力を規定する問題である。それ故我々は、Xテー攻撃と京都国体に対し、反安保・

反天皇・沖縄帝の旗を高々と掲げて闘

体に対して正面から対決することであ

る。

日帝一竹下は、「あるさて創生論」なる持論によつて、ショナリズムを鼓舞し、中曾根よりも穏健に、しかしながら、だからこそより巧妙に、戦争に向かた「拳

制」徹底した裕仁の「平和天皇」キヤン

ペーンと明る「戦争を知らない天皇」と反対派の暴的圧殺を狙つてゐる。

これはアーティによるマスクの報道管

国一致体制による反対派の集中弾圧として表れようとしている。

第一に國体巡の初回・裕仁から明仁

へと続々とバントンタッチのため政

治的セレモニーとして、第二に「建都千

二百年祭」へと続く天皇制を前面に押し出された「文化首都」=「日本の文化的るさ」との建設としての意味をもつてゐる。

又これ運動して、「有事」の際の米

市空港の完成と石垣島新空港をはじめとする四地方空港のシート化を推し進めることによって、戦争に向けた日本列島の「全土不沈空母化」を画策してい

る。三里塚闘争が政府の中心プロジェクトである成田軍事空港の建設を阻み抜いて、これが第一の意義である。

第一には、三里塚闘争が日米帝の戦争

準備、日帝の農政・農業政策・農作物

輸入自由化・食糧制度解体攻撃と対決す

る。民と労働者の「労農連帯」を発展させ、敵が日雇金協の闘いをいかに恐れているかといふことの証左である。

これに對し日雇金協と支援は、「丸とな

れども、竹下による戦争遂行国家体制づくりの中心環である。

天皇制と日米安保・日米韓軍事同盟は、革命の根本問題である日本の国家権

力を規定する問題である。それ故我々は、Xテー攻撃と京都国体に対し、反安保・

反天皇・沖縄帝の旗を高々と掲げて闘

体に対して正面から対決することであ

る。

日帝一竹下は、「あるさて創生論」なる持論によつて、ショナリズムを鼓舞し、中曾根よりも穏健に、しかしながら、だからこそより巧妙に、戦争に向かた「拳

制」徹底した裕仁の「平和天皇」キヤン

ペーンと明る「戦争を知らない天皇」と反対派の暴的圧殺を狙つてゐる。

これはアーティによるマスクの報道管

国一致体制による反対派の集中弾圧として表れようとしている。

第一に國体巡の初回・裕仁から明仁

へと続々とバントンタッチのため政

治的セレモニーとして、第二に「建都千

二百年祭」へと続く天皇制を前面に押し出された「文化首都」=「日本の文化的るさ」との建設としての意味をもつてゐる。

又これ運動して、「有事」の際の米

市空港の完成と石垣島新空港をはじめとする四地方空港のシート化を推し進めることによって、戦争に向けた日本列島の「全土不沈空母化」を画策してい

る。三里塚闘争が政府の中心プロジェクトである成田軍事空港の建設を阻み抜いて、これが第一の意義である。

第一には、三里塚闘争が日米帝の戦争

準備、日帝の農政・農業政策・農作物

輸入自由化・食糧制度解体攻撃と対決す

る。民と労働者の「労農連帯」を発展させ、敵が日雇金協の闘いをいかに恐れているかといふことの証左である。

これに對し日雇金協と支援は、「丸とな

れども、竹下による戦争遂行国家体制づくりの中心環である。

天皇制と日米安保・日米韓軍事同盟は、革命の根本問題である日本の国家権

力を規定する問題である。それ故我々は、Xテー攻撃と京都国体に対し、反安保・

反天皇・沖縄帝の旗を高々と掲げて闘

体に対して正面から対決することであ

る。

日帝一竹下は、「あるさて創生論」なる持論によつて、ショナリズムを鼓舞し、中曾根よりも穏健に、しかしながら、だからこそより巧妙に、戦争に向かた「拳

制」徹底した裕仁の「平和天皇」キヤン

ペーンと明る「戦争を知らない天皇」と反対派の暴的圧殺を狙つてゐる。

これはアーティによるマスクの報道管

国一致体制による反対派の集中弾圧として表れようとしている。

第一に國体巡の初回・裕仁から明仁

へと続々とバントンタッチのため政

治的セレモニーとして、第二に「建都千

二百年祭」へと続く天皇制を前面に押し出された「文化首都」=「日本の文化的るさ」との建設としての意味をもつてゐる。

又これ運動して、「有事」の際の米

市空港の完成と石垣島新空港をはじめとする四地方空港のシート化を推し進めることによって、戦争に向けた日本列島の「全土不沈空母化」を画策してい

る。三里塚闘争が政府の中心プロジェクトである成田軍事空港の建設を阻み抜いて、これが第一の意義である。

第一には、三里塚闘争が日米帝の戦争

準備、日帝の農政・農業政策・農作物

輸入自由化・食糧制度解体攻撃と対決す

る。民と労働者の「労農連帯」を発展させ、敵が日雇金協の闘いをいかに恐れているかといふことの証左である。

これに對し日雇金協と支援は、「丸とな

れども、竹下による戦争遂行国家体制づくりの中心環である。

天皇制と日米安保・日米韓軍事同盟は、革命の根本問題である日本の国家権

力を規定する問題である。それ故我々は、Xテー攻撃と京都国体に対し、反安保・

反天皇・沖縄帝の旗を高々と掲げて闘

体に対して正面から対決することであ

る。

日帝一竹下は、「あるさて創生論」なる持論によつて、ショナリズムを鼓舞し、中曾根よりも穏健に、しかしながら、だからこそより巧妙に、戦争に向かた「拳

制」徹底した裕仁の「平和天皇」キヤン

ペーンと明る「戦争を知らない天皇」と反対派の暴的圧殺を狙つてゐる。

これはアーティによるマスクの報道管

国一致体制による反対派の集中弾圧として表れようとしている。

<p